

第1学年 総合的な学習の時間 学習指導案

日時：令和4年5月25日（水）第5校時

場所：1年各教室

指導者：教諭 佐藤 陽（1年1組）

教諭 小野寺 倫代（1年2組）

教諭 真嶋 瑞穂（1年3組）

教諭 藤島 久仁江（1年4組）

1 単元名

『親睦を深めるためのレクリエーションを企画しよう』

2 単元の目標

お互いを理解し、親睦を深める目的で実施する野外活動のレクリエーション（野外炊事、オリエンテーリング等も含む）において、目標達成のためのよりよいレクリエーションを工夫すること、及び、レクリエーションにおいて、よりよい成果を収めるという目標達成に向けた探究的活動を通して、他者の良さや自分の良さを知り、自分のこれからの生き方（行動、考え方）を主体的に考えることができる。

3 単元の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	① 親睦はお互いを理解することであり、そのためには、自分の考えや思いを相手に伝えることが大切であることと、同じくらい相手の考えや思いを聴くことが大切であることを理解している。 ② 観点を明確にして比べることが分かりやすいことを理解している。 ③ 相手に伝える時の、ロードマップやナンバリングの技法を身につけている。	① 提案された複数のレクリエーション案について、観点を明確にして比較しながら、特徴をとらえている。 ② 自分たちが考えたレクリエーションについて、ロードマップやナンバリングの技法を用いながら、分かりやすく相手に伝えている。 ③ レクリエーションでより良い結果を得るために、現状を分析し、課題を発見し、解決の見通しをもっている。	① 目標達成のために、自分で案を考えようとしている。 ② 他者の案に耳を傾け、積極的に建設的な意見を述べようとしている。 ③ 他者の良さをとらえようとするとともに、自分の考え方や行動の長所を客観的にとらえようとしている。

4 単元について

(1) 生徒の実態

1学年の生徒は、全体的に男女ともに素直で中学校生活を充実しようと努力する姿が見られる。4月当初はまだぎこちなかった人間関係も、学級活動を通して、徐々に関わりの輪が広がってきた。その一方、自分の思いや考えをうまく伝えられず、トラブルも起きている。

入学して初めての学年行事である野外活動の取り組みを通して、他者の良さに気づき・伝え・交流することで互いを認め合える肯定的な集団となるようにしていきたい。

(2) 単元の指導構想

ア 主体的な学習への取り組み

学年行事のレクリエーションという楽しさを伴う企画を考えることで、生徒自身が楽しく主体的に学習に取り組む要素の一つになると考える。生徒の自主的・主体的な動機付けを意識して指導していく。

イ 交流の場の設定・工夫

入学して間もないこの時期に、自己有用感を高めることは大切である。この点から、班や学級だけでなく学年全体でも交流の場を設けて活動を進めていく。

ウ 意見交流の場における適切なコーディネート

複数の小学校から入学してきた生徒で構成された集団であるため、この時期は自分に自信が持てず自己有用感が低い生徒が多いと予想される。まず個人の意見を持たせたいと、意見交流の場において、適切にコーディネート、指導・支援を行いながら活動を進め、自己有用感の向上を図りたい。

エ 振り返りの工夫

授業の振り返りの場面で、具体的な活動の様子を根拠に、他者の良かった点をメモし、主体的に活動に取り組めるようにする。また、単元の最後には、他者の良さを伝えあい（ほめほめシャワー）、自分の良さを客観的に知ることによって自己有用感を高め、これからの日常生活を自信を持って送れるようにしていきたいと考えた。

5 指導と評価の計画

自己有用感向上のための活動：「良いところメモ」(★) 「ほめほめシャワータイム」(☆)

時間	学習活動 (※：留意点 ★：自己有用感向上のため)	知	思	態	評価方法
3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本単元のねらいと単元の流れを理解する。 ※ レクリエーションを通して他者を理解し、親睦を深めるとともに、今後の自分の生き方（行動や考え方）を考える。 ○ レクリエーションのねらいを理解する。 ○ ねらい達成のため等の条件を理解する。 ○ 条件の中で、目標達成ができるレクリエーションを考え、学級として一つに絞る。 ※ 個人→班→学級 ○ 学年全体への伝達のためのプレゼンテーションを考える。 ※ 伝え方、説明方法の検討 ※ 学級内での説明練習と改善 ★ 毎時間、他者の良かった点をメモする。 ※ タブレットや記録用紙に記録する。 ※ 13時間の中で、全員分を記入する。 ※ 良さについては、「ほめほめシャワータイム文末表現」を活用する。 	① ② ③	① ②	① ②	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・発表原稿 ・発言
1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学級のレクリエーション計画を学年全体へ説明する。 ★ 他者の良かった点をタブレット等にメモする。 		②		・発表
2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学級から出された内容について、それぞれよい成果を収めるための作戦を考える。 ○ 作戦に従って練習をするとともに、作戦の改善を図る。 ★ 他者の良かった点をタブレット等にメモする。 		③		・ワークシート
特活	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 野外活動・レクリエーション ★ 他者の良かった点をメモする（記録用紙、しおり） 				
3 (本時 2/3)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他者の良さを再確認する。 ☆ 他者の良さについてまとめ、伝える。 ※ 直接伝え合う活動を取り入れる。 ○ これからの自分の行動や考え方についてまとめる。 ※ 他者の良さから学んだことや発見した自分の良さや特徴を踏まえて書く。 	①		③	<ul style="list-style-type: none"> ・記述・伝え合い・記述の姿

6 本時の学習

(1) 目標

具体的な行動や発言を根拠にして、他者の良さを**みつけ**、伝えることができるとともに、自分が他者から伝えられた良かった点について、自分の感想や考えをもつことができる。

(2) 評価規準

主体的に学習に取り組む態度	他者の良さをとらえようとするとともに、自分の良さを発見したり再確認したりしようとしている。(記述・伝え合いの姿)
---------------	--

(3) 指導構想

導入場面は、本時の課題「級友の良かったところを見つけよう、伝えよう」を確認し、本時の流れを確認する。展開場面では、前時まで単位時間が終わるたびにタブレット等にメモしてきた級友の「良さ」を基に、級友の具体的な行動や発言等を思い返しなが文章として完成させる。その後、その文章を相手に贈り、自分の考えや思いを伝える。また、班内での伝え合い活動を行う。その後、受け取った文章を読みながら、自分の良さを発見したり、再確認したりする。終末場面では、受け取った感想を発表する。

全員が多くの級友からコメントをもらうことによって、多種多様な場面での自分の良さに気づくことができたり、良さが強化されたりすることをねらいとしたい。さらに、直接伝え合う場面も設定し、文字だけでは伝わらない表情やニュアンスも大切にしたい。

また、できるだけ、具体的な行動や発言を根拠に書かせることと語彙力不足のせいで思いが十分に伝わらないということにならないようにしたい。

本時は、本研究の「ほめほめシャワータイム」として実施する。

(4) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される生徒の発言)	指導上の留意点 (◆ 評価場面)
導入	3分	<p>1 課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>「級友の良さを伝え合い、自分の良さを見つめよう」</p> </div> <p>2 本時の流れを確認する。</p>	<p>・単元当初に確認済の課題であるので、端的に示す。</p> <p>・紙板書</p>
展開	40分	<p>3 文章にまとめた級友の良さを見直す。 ◇「企画の時に、〇〇さんと〇〇君のアイデアを合わせて新しいものを創り上げた時に、想像力があるなと思ったよ。」 ◇「全体発表の準備の時に、自分の役割が終わった後に手伝ってくれて、思いやりがあるなと思ったよ。」</p> <p>4 班内で伝え合う。 ◇「〇〇さんに思いやりがあるなと言ってもらいました。とても嬉しいです。」 ◇「責任感があるとみんなに言ってもらいました。自分ではただ一生懸命やっていただけでしたが、自分の良さだと気づきました。」</p> <p>5 級友へ文章を贈る。</p> <p>6 受け取った文章を読み、分類し感想をかく。</p>	<p>・根拠として、「具体的な行動・発言」を確認する。 ・「ほめほめシャワータイム文末表現」を参考として表現を比較する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>◆主体的に学習に取り組む態度（記述の姿）</p> </div> <p>・一人に対して、班員が順番に伝える形式を繰り返す。 ・班員全員から伝えられた後に、一言感想を述べる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>◆主体的に学習に取り組む態度（伝え合いの姿）</p> </div> <p>・新たに発見した自分の良さについて、印をつけさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>◆主体的に学習に取り組む態度（記述の姿）</p> </div>
終末	7分	<p>7 受け取った文章について感想を話す。 ◇「練習が終わった後に、もう少しここを直そうと言ったことについて、あきらめない人だなと良さを言ってもらいました。ゲームに勝ちたいという思いだけで話したと思うけれど、あきらめないっていう良さなんだなと思いました。」</p> <p>8 次時の学習内容を確認する。</p>	<p>・自分の良さについて新たに気付かされたことを中心に話させる。</p> <p>・次時は、他者の良さから学んだことや発見した自分の良さや特徴を踏まえて、これからの自分の行動や考え方についてまとめることを伝える。</p>